

愛媛県版まち・ひと・しごと創生総合戦略 新旧対照表

(地方創生拠点整備交付金の活用に係る改正部分のみ)

改 正 後	改 正 前
<p>企業と地元大学・公設試等との連携の推進・支援 《取組みの方向性》 (略) 《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県産業技術研究所や(公財)えひめ産業振興財団が中心となって、企業の保有する技術力と大学等が保有する研究開発成果・知識をコーディネートし、新技術・新製品の開発や付加価値の創造を図る。 ・ <u>県農林水産研究所において、生産者・大学・地元企業等とタッグを組み、新品種・新技術・新商品の開発・販売を推進するほか、技術習得等による人材の確保・育成を図り、農林水産産業を核とした地域産業の活性化を図る。</u> ・ <u>県産業技術研究所・県農林水産研究所においては、企業や大学等との連携・共同研究に取り組むために必要な機能強靱化を図る。</u> 	<p>企業と地元大学・公設試等との連携の推進・支援 《取組みの方向性》 (略) 《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県産業技術研究所や(公財)えひめ産業振興財団が中心となって、企業の保有する技術力と大学等が保有する研究開発成果・知識をコーディネートし、新技術・新製品の開発や付加価値の創造を図る。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

改正後	改正前
<p>次世代の成長産業へのチャレンジ支援 《取組みの方向性》 (略) 《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 超高齢社会の到来や健康志向の高まりなどから、ビジネス機会が増大している健康分野や機能性表示食品の開発、鉄より軽く、強度が高いなどの特性を有し、用途拡大が期待される炭素繊維やセルロースナノファイバーなど、成長分野への重点支援による産業力の向上を図る。特に、<u>炭素繊維やセルロースナノファイバー等の高機能素材については、県内ものづくり中小企業の持続的な新製品の開発、ひいては高機能素材関連産業の創出の加速化が図られるよう、県産業技術研究所に、高機能素材に関する一連の開発工程を効率的に実施できる体制を整える。</u> ・ 資源再生に関連する技術の開発・集積を進めるなど、今後成長が見込まれる低炭素ビジネスに積極的に取り組む事業者を支援・育成し、環境分野における成長産業を創出する。 ・ 環境に配慮した事業活動を普及させるため、CO₂取引制度の導入を促進するなど、環境と経済が好循環する先進環境ビジネスモデルを構築する。 	<p>次世代の成長散産業へのチャレンジ支援 《取組みの方向性》 (略) 《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 超高齢社会の到来や健康志向の高まりなどから、ビジネス機会が増大している健康分野や機能性表示食品の開発、鉄より軽く、強度が高いなどの特性を有し、用途拡大が期待される炭素繊維やセルロースナノファイバーなど、成長分野への重点支援による産業力の向上を図る。 <hr/> <hr/> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源再生に関連する技術の開発・集積を進めるなど、今後成長が見込まれる低炭素ビジネスに積極的に取り組む事業者を支援・育成し、環境分野における成長産業を創出する。 ・ 環境に配慮した事業活動を普及させるため、CO₂取引制度の導入を促進するなど、環境と経済が好循環する先進環境ビジネスモデルを構築する。

改正後	改正前
<p>農林水産業の成長産業化に向けた支援 《取組みの方向性》 (略) 《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》 (力強い農林水産業を支える担い手の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な新規就業者を確保するため、頑張っている農林水産業者の姿をデータベース化し、広く県民に知っていただくなど、負のイメージを払しょくするために必要な情報の発信や技術習得のサポートに取り組むほか、農林水産業に関する学習の場の充実や地域のリーダーとなり得る担い手の育成を図る。 <u>他産業に比べ労働災害の発生率が高い林業において、優秀な人材を確保・育成するため、県林業研究センターに、林業労働安全に特化した研修棟を整備し、労働災害の防止と担い手の労働生産性の向上を図る。</u> <p>(選ばれる産地を目指した技術開発の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者ニーズに適切に対応するため、愛媛ブランド牛や新たな養殖魚種などのブランド産品や柑橘王国の維持・発展につながる新品種の開発に取り組むとともに、新品種に対応した生産技術の開発・実用化を進め、高品質で付加価値の高い農林水産物の生産拡大を図るほか、地域資源の新たな利用方法や食材の機能性を研究するなど、新しいビジネスチャンスを生み出す試験研究を進め、県内事業者による事業化・製品化を支援する。 <u>果樹研究の中核拠点である県果樹研究センターを、新ビジネス創出に必要な機能を備えた施設として整備し、産官学の連携強化により、質の高い品種や技術の開発を行うとともに、県内生産者等へ技術の定着を図る。</u> <u>造林・育林・緑化分野の技術革新を図るため、エリートツリー等の優れた品種の研究を行う研究棟を県林業研究センターに新設する。</u> 	<p>農林水産業の成長産業化に向けた支援 《取組みの方向性》 (略) 《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》 (力強い農林水産業を支える担い手の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な新規就業者を確保するため、頑張っている農林水産業者の姿をデータベース化し、広く県民に知っていただくなど、負のイメージを払しょくするために必要な情報の発信や技術習得のサポートに取り組むほか、農林水産業に関する学習の場の充実や地域のリーダーとなり得る担い手の育成を図る。 <hr/> <hr/> <hr/> <p>(選ばれる産地を目指した技術開発の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者ニーズに適切に対応するため、愛媛ブランド牛や新たな養殖魚種などのブランド産品や柑橘王国の維持・発展につながる新品種の開発に取り組むとともに、新品種に対応した生産技術の開発・実用化を進め、高品質で付加価値の高い農林水産物の生産拡大を図るほか、地域資源の新たな利用方法や食材の機能性を研究するなど、新しいビジネスチャンスを生み出す試験研究を進め、県内事業者による事業化・製品化を支援する。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>